

登録コード	HB481105	開講年度	2026				
授業題目	生体医工学特別演習Ⅲ					担当教員	植村 健
英文授業名	Advanced Biomedical Engineering Seminar Ⅲ					副担当	
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	(授業の達成目標)
	2026HB4年制初						
	【専攻】医学と理工学の融合領域の専門分野における深い知識・卓越した技能					⇔	高度な医学と理工学の融合領域の専門分野を理解できるようになる。
	【専攻】医学と理工学の融合領域における課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力					⇔	高度な医学と理工学の融合領域における課題の本質を見抜くことができるようになる。
	【専攻】医学系や理工学系の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力					⇔	高度な医学系や理工学系の専門分野近傍の課題を理解できるようになる。
(2)詳細/Detailed information	細胞生物学、動物生理学、神経科学、生体材料学について、生物学的/化学的/工学的手法を用いて広範囲に研究する。また、細胞生物学、動物生理学、神経科学、生体材料学の基礎研究ならびに異分野融合型の研究応用・開発研究を行う。						
(3)授業の概要/Overview of course	教員の研究テーマにそって研究を行うことにより、生体医工学の高度な専門知識と研究・開発能力を獲得する。またその成果を発表し、博士論文としてまとめる。						
(4)授業計画/Course plan	研究テーマにそって文献調査および予備実験のデータを踏まえて実験計画を立てる。 計画にそって調査および実験を実施する。 調査や実験や結果を論理的に評価・考察する。 以上のような研究サイクルによって、研究テーマを発展させる。その成果を学会等において発表し、最終的には博士論文としてまとめる。教員は討論および研究方法の助言を通して研究推進をサポートする。						
(5)成績評価の方法/Grading/evaluation method	研究に取り組む態度及び研究成果。						
(6)成績評価の基準/Grading/evaluation criteria	学外から高い評価を得られるレベルにあれば「秀：100-90点」、教員を感心させるレベルにあれば「優：89-80点」、十分なレベルにあれば「良：79-70点」、達成目標を満たせば「可：69-60点」、不十分であれば「不可：59点以下」とする。						
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容/Notes	積極性、独創性、論理性を重視する。						
(8)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	常に対応する						
(9)授業の形式/Course format	演習形式						
【教科書/Textbook(s)】	指定しない						
【参考書/Reference work(s)】	指定しない						